

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団</p> <p>平成 29 年度 歯科保健活動事業助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：</p> <p>徳島県後期高齢者歯科健診データヘルス事業（2 年目）</p>
<p>2. 申請者名：</p> <p>一般社団法人徳島県歯科医師会</p> <p>代表者氏名 森秀司</p> <p>担当者氏名 岡本好史</p>
<p>3. 実施組織：</p> <p>徳島県歯科医師会 徳島県後期高齢者医療広域連合 徳島大学</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>①平成 27 年度より徳島県後期高齢者医療広域連合では、「後期高齢者歯科健診」を実施している。歯科健診、保健指導を行うだけでなく、健診結果や KDB（国保データベース）、レセプト等の情報を活用し健康課題を分析し、効果的な対応を行い後期高齢者の健康長寿の実現に寄与できるよう取り組む。</p> <p>②後期高齢者に対する口腔保健の普及啓発</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <p>徳島市の後期高齢者歯科健診結果と、後期高齢者医療保険者から得られた健診時（該当年度）の医科医療費・歯科医療費を繋げて横断的に調査することにより、口腔の状態（残存歯数、歯周組織の状態および口腔機能の状態）や生活習慣と医療費や全身疾患との関連性を解析した。</p> <p>その結果を踏まえて県内 9 か所で開催されるシルバー大学において、高齢者の口腔機能維持と健康長寿を目的とした講演、保健指導のための資料作成を行った。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>①後期高齢者の口腔状況と課題</p> <p>今回の分析も昨年に引き続き、過去 1 年間の肺炎発症と口腔保健に関連する要因として「痛みがある」「固いものが食べにくい」、「飲み物がむせる」「定期歯科健診を受けていない」との関連性が認められた。更に定期歯科健診を受けている後期高齢者では年間に必要な医療費・介護給付費を抑制できる可能性が示された。</p> <p>②今後の展開</p> <p>3 年目となる 29 年度は、単年度の結果分析と 3 年間の累積結果の分析に加えて、初年度である平成 27 年度受診者の追跡調査を行い、その後の全身疾患の発症や各医療費との関連性を縦断的に調査することにより、口腔の状態がその後の医療費等にどのような影響を及ぼすのか、明らかにする。また報告書を作成し関係団体に配布する。</p>